

新会員のご紹介 ◆12月第二例会（令和4年12月13日（火）開催）入会



12月第二例会にて新会員入会式が行われ、1名の方が入会されました。

氏 名	L. 福田 雄介	生年月日	昭和50年2月16日
会 社 名	東和機電工業株式会社	役 職	代表取締役
S P L. 内藤 誠治			
所属委員会		第二委員会	

今期増減会員数 入会者5名 退会者0名

鳥野神社の直方ライオンズクラブ寄贈品記念碑

L. 向野 正弘

頓 野の内ヶ磯ダム（福智山池）の池畔にある鳥野神社は、元々福地三所神社の中宮であり、鳥居に掲げられた額には「福地社」とある。この神社は、400年前の直方藩創設と密接に関係する。碑には、

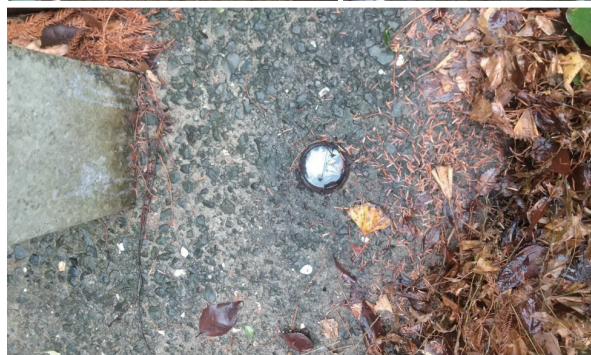
〔表〕 贈 ライオンズ国際協会
直方クラブ直方レオクラブ
〔脇〕 昭和四十七年五月五日

とある。昭和47年（1972）は、今（2023）から51年前。何を贈ったんだろうか？よく見ると、円柱状の鉄の部分、基底部で折れている。一定の長さがあり、若干先の方が細くなっているように見える。推測するに旗を掲揚するためのポールではないだろうか。

篠原義一「むかしの『内ヶ磯』地域一古跡を中心に」に「境内では昭和三十四年、内ヶ磯キャンプ、同三十四年、内ヶ磯少年キャンプが始まった」（『郷土直方』29・30 合、2000.5、p.23）とあり、キャンプを通してレオクラブが関わっていたと推測される。

ライオンズクラブは、翌昭和48年（1973）8月15日に直方藩（旧東蓮寺藩）創設350年を記念して、「史跡 直方城址」の碑を建立している。このことと、この記念品碑とは、密接に関係していると思われる。直方藩創建と福智神社のことに興味を寄せていた人物はだれか。思い当たるのは、山名敏雄氏である。

山名敏雄氏は、15代（昭和47-48：1972.7-1973.6）の会長。L. 山名といえば、眼科で名高く上境の福地神社に、関連する顕彰碑がある。この福地神社は、福智三所神社の下宮に相当する。『直方医師会の歩み』（1982）によれば、山名敏雄氏は、大正5年（1916）生まれ。住所を上境、所属する医療機関を「電電公社直方健康管理所」、診療科目を「内科」とする。なおこの時の五役は、他にL. 有吉 威（幹事）・L. 飯野 秀雄（会計）・L. 香月 博吉（テーマー）・L. 岸田 富雄（テール）であった。



クラブ会報『年輪』 第625号（2023年） 令和5年2月21日（火）

編集／発行 直方ライオンズクラブ 第二委員会

福岡県直方市殿町7-50 直方商工会議所ビル3F TEL(0949)22-4530 FAX(0949)22-4531

ホームページ▶<http://www.noogata-lions.com> メール▶office@noogata-lions.com

2023
2
FEBRUARY
No.625



337-A地区 3R-1Z
直方ライオンズクラブ会報誌

年輪

Nogata lions club bulletin NENRIN



挑戦するからライオンズだ!!

NOGATA LIONS CLUB 65th ANNIVERSARY

結成65周年記念式典・記念事業の成功に向けて

65周年大会実行委員長 篠田 雅孝

直 方ライオンズクラブは、全国に3450ものクラブがある中で76番目に誕生し、現在に至るまで長い歴史と伝統を誇っています。この長い歴史の中で時代は移り変わり、人の考え方も大きく変化し、それに伴い我が直方ライオンズクラブの活動内容も変化してきました。

しかしながら「We serve 我々は奉仕する！」という基本理念は決して変わることはありません。本年度にて結成65周年を迎えることができますのは、現会員の皆様は勿論、先輩諸兄の地域への熱い想いとたゆまない奉仕活動の賜物であると考えます。

皆様の地域への想いを具現化する65周年記念事業として、地域住民とJR直方駅前活性化のためのグランドデザインを直方市に提案します。私たちのふるさととは人口が減少し続けています。そこに歯止めをかけることが地域への還元であり奉仕です。ひいてはクラブ会員の増強にも繋がる重要事項であり、時代の要求に即した変化を巻き起こさねばなりません。変化を恐れない気持ちを持つことこそが挑戦であり、当クラブが70周年、80周年と活動し続けるための確固たる基盤に繋がると信じます。

「挑戦するからライオンズだ!!」5月13日（土）に開催する直方ライオンズクラブ結成65周年記念式典の成功に向けて、会員の皆様の温かいご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



（写真は2枚とも60周年記念式典）

結成年月日：1958.5.10 チャーターメンバー：38名 国際番号：024048 チャーターナイト：1959.3.7 SPクラブ：福岡LC 日本順位：76番目

2017年9月30日開催 結成60周年記念式典・懇親会の様子

記念事業部会

×

部会長 L. 飯野 剛士

事業部会では、65周年記念事業のテーマとして「物を寄贈するハード面の発想だけでなく、心を豊かにする状況や生活の利便性を図る環境を創造するソフト面での発想」をコンセプトに検討を重ねました。そこで現在検討中なのが灯りです。

直方駅前から日の出橋まで続く外灯をご存知でしょうか？建てられた外灯は、当初はモダンなデザインで市民からも脚光を浴びましたが、実は6球全てを点灯させると能力が強すぎて空までを照らしてしまいます。明る過ぎることで逆に近隣市民からの苦情となってしまう、現在では1球のみの点灯となりました。さらに、老朽化した事や電気代のコストも問題になっております。

この問題に着目し、記念事業のメインとして地域活性化及び商店街の活性化に繋がる直方駅前から始まる『あかりを使ったまちづくり直方駅前照明計画』を検討し、具現化の為のグランドデザインを描きました。記念事業としまして、その基本設計図を直方市にプレゼン致す所存です。

様々な難題はございますが、地域の未来に希望の光を灯すべく事業部会はまい進し続けます。



結成60周年記念誌

式典・懇親会部会

×

部会長 L. 有吉 慶祐

結成65年の節目にあたり、式典と懇親会を担当させていただくことの重みを日々感じながら準備に取り組んでいるところです。

多くの敬愛する先輩方が受け継いでこられた直方ライオンズクラブへの思いをしっかりと継承し、温かく支え見守ってこられた方々への感謝の思いを今一度深くしながら、これからの精進への誓いを新たにしていこう。この周年の意義を笑顔に溢れた空間のなかで表現できるような式典や懇親会を実現したいと考えております。皆さまのご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

総務部会

×

部会長 L. 郡司島 敏亨

65周年実行委員会は、5月13日（土）の式典・祝賀会に向けて動き始めています。総務部会も組織の潤滑油となるべく事業成功に向けて邁進しています。

その職務は皆様の目を引くような華やかさはありません。ですが、組織の要としての役割は多岐に渡ります。例えば、ご出席頂くキャビネット役員の方々やブラザークラブの方々に郵送する案内状ひとつを取っても何度も修正し丹精込めて作成しました。また、記念誌発行においては5年間の集大成となるように気持ちを込めて作成しています。さらに当日着用するジャンパーの不足はないか？ポロシャツは制作すべきか？粗品は何か良いか？等、参加される方々に気持ちよく過ごしていただけるようにと、初めての事にも全力で挑戦しております。

当日まで三ヶ月を切りました。ここから更に部会メンバー一丸となって取り組んで参りますので皆様のご協力をお願い致します。



65周年ロゴマーク

65周年記念式典・記念事業に向けて各部会部会長より周年へ懸ける思いを書いていたいただきました。写真はすべて60周年記念式典・懇親会の模様です。当時を振り返りながらお読みください。

結成65周年記念式典・記念事業に向けて